校内研修計画

山梨市立加納岩小学校

**１　学校課題**

（１）今日的な教育の流れから

・ICTを最大限に活用しながら，「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることが求められている。

・一人一台端末の導入されたことや，主体的・対話的で深い学びが目指されるようになったことにより，教科を問わず，授業づくりについての指導観や授業における教師の役割は転換期を迎えている。

（２）本校の実態から

・昨年度まで「英語教育改善プラン推進事業」の指定を受け，学習者用デジタル教科書の活用を積極的に行ってきた。

・児童が安心して学ぶことができる学級風土の醸成を目指し，安定した学級経営をすることが急務である。

**２　研究主題**

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実にむけた授業づくり

―教師のファシリテーションに焦点をあてて―

**３　主題設定の理由**

　令和３年の答申に盛り込まれた教育課程に関係する事項について，「教育課程部会における審議のまとめ」（令和３年１月 25 日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会）では，今後の教育課程の在り方について，学習指導要領において示された資質・能力の育成を着実に進めることが重要であり，そのためには新たに学校における基盤的なツールとなる ICT も最大限活用しながら，多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と，子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実が図られることが求められるとされている。児童に一人一台端末が導入されて数年が経過した本校において，「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図っていくことは急務といえよう。

本校では，この２年間「英語教育改善プラン推進事業」の指定を受け，実践を重ねてきた。昨年度は，個別最適な学びと協働的な学びをバランスよく設定する中で，課題に対して学びの個別化・個性化を図りながら個人で追究したり，教師が児童の発言に問い返すことで協働的に解決したりする授業が提案された。個別学習に関わる教師の事前準備には時間を要するものの，数分程度の個別学習を通して学びが深まっていく様子や，一人一人の児童が自己調整を図りながら主体的に学んでいる姿が明らかになった。また，協働学習において，自分の考えを洗練していくことや深い学びに展開させていくためには，児童一人一人の考えをつなげる・広げる等の教師側の力量が求められること，さらに，充実した協働学習を行うにあたり，安定した学級経営と，安心して学ぶことができる風土の醸成が必要不可欠であることが再確認された。学びを支える環境も大きく変化しつつある。紙媒体の教科書に加え，教科によっては学習者用デジタル教科書が運用されるようになった。昨年度研究の中心に据えた英語科では，授業時において，２～３分程度のまとまりで児童が学習者用デジタル教科書を使用する場面を意図的に設定したり，家庭学習において活用を促したりと，授業設計を見直してきた。一人一台端末の積極的導入が促進されていることからも，教科を問わず，授業づくりについての指導観や授業における教師の役割は大きな転換期を迎えている。

そこで，今年度は，昨年度の研究からさらに一歩進めていきたい。具体的には，協働学習に主軸を置き，教師の授業ファシリテーションに焦点化して研究を積んでいく。個別最適な学びと協働的な学びを一体として捉え，往還させながら授業をつくっていくことに加え，授業づくりにおいて教師のファシリテーションについて理解を深め，授業実践・分析・交流をしながらボトムアップを図る。そして，ファシリテーションの考え方や技術を導入すると，授業はどのように変わり，児童の考え方や協働的な学びがどのように深まっていくのか明らかにしていきたい。

**４　研究の具体的内容と方法**

（１）全体会で研究を進める。

（２）講師を招聘し，授業における教師の役割やファシリテーションについて学ぶ。

（３）各自の実践を持ち寄り，ポスターセッションを行う。（２回）

（４）児童の考え方や協働的な学びの深まりを，ノートの記述や児童の学びの姿からみとる。

（５）学級集団づくりの一環として，学級力ミーティングを取り入れる。また，学級力ミーティングの情報交換会をする。（２回）

**５　年間研究計画**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 月日 | 内　　容 | 司会記録 | 講師  要請 |
| １ | 4/12 | 研究構想の提案・家庭学習について | ５・６年 |  |
| ２ | 4/19 | 研究構想の決定・キーワードの共通理解 | ４年 |  |
| 3 | 4/26 | 学級力向上プロジェクトについて  ファシリテーションについて | ３年 |  |
| 4 | 5/24 | 講師招聘①オンライン（山梨大学東海林先生） | 研究主 | 〇 |
| 5 | 6/7 | 通級教室開設に関わる説明会（岡先生） | ２年 | 〇 |
| 6 | 6/21 | 理論研究（協働学習・教師の授業ファシリテーション） | １年 |  |
| 7 | 7/5 | アレルギーに関わる研修（佐久間） | 支援 |  |
| 8 | 8/23 | 教育課程還流報告・学力向上  一人一実践・ポスターセッションについて | 専科 |  |
| 9 | 9/6 | 講師招聘② | ５・６年 | 〇 |
| 10 | 9/13 | 講師招聘をうけて | ４年 |  |
| 11 | 10/4 | 第１回スマイルミーティング（情報交換会） | 各グループ |  |
| 12 | 10/18 | ポスターセッション① | 研究主 |  |
| 13 | 10/25 | 講師招聘③（山梨大学　茅野先生来校） | ３年 | 〇 |
| 14 | 11/1 | 研究紀要について | ２年 |  |
| 15 | 12/6 | ポスターセッション② | 研究主 |  |
| 16 | 1/17 | ポスターセッション③ | 研究主 |  |
| 17 | 1/31 | 第２回スマイルミーティング（情報交換会） | 各グループ |  |
| 18 | 2/7 | 研究のまとめ | １年 |  |
| 19 | 2/21 | 来年度の方向性の提案 | 支援 |  |

（研究主任　藤木真里佳）